

下肢の鎮痛用の神経ブロック注射、終了のお知らせ

仙骨硬膜外ブロック(=仙骨ブロック)、腰椎神経根ブロックは、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に伴う激しい腰・下肢痛やしびれを早期に緩和し全体の治療効果を促進する効果のある優れた治療法であり、当院開設以来、外来で頻繁に行って参りました。

しかしながら、今年に入り各種注射や点滴療法を受けられる患者さんのご来院が急増し、これらの神経ブロック注射を確実に執り行うために必要な人員・時間・スペースの確保が困難になってきました。

安全性を第一に考慮する理由から、今後は上記の神経ブロック注射は原則的に行わないことに決定しました。

腰痛や下肢痛が強く、他の治療法では痛みがコントロールできずどうしてもブロック注射が必要と考えられる患者様には、適切な他の医療施設(麻酔科・ペインクリニック外来)をご紹介させていただきます。

ご紹介先は、患者さんのお住まいや通院のご都合などを考慮し、都度相談しながら決定します。

なお、腰椎疾患由来の腰・下肢の痛みに対しては、腰臀部のトリガーポイント注射、消炎鎮痛剤の静脈注射、神経痛用の各種内服薬などを適宜組み合わせることで、多くの場合はコントロールできます。トリガーポイント注射に関しては引き続き実施できますので、現在慢性痛で通院中の患者さんはあまりご心配なさらないようお願いいたします。

また、手のしびれに対する手首の神経ブロック(正中神経ブロックなど)、足の慢性通に対する足根洞ブロックなどは今後とも必要に応じて行うことはできますので、しつこい手・足末梢の痛みが残る方は院長にご相談下さい。